

# OF1フォーム310

この消火薬剤は消防法第21条の2第2項の規定(昭和23年法律第186号)に基づく、昭和50年12月9日発令の自治省令第26号「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令」(国家検定)に適合した、駐車場用合成界面活性剤泡消火薬剤(OF1フォーム)「型式番号泡第2025~6号」です。本消火薬剤は、駐車場の泡消火設備及び特定駐車場用泡消火設備に使用できます。本資料はこの製品の仕様に関するものです。

## ■成分

- ・本消火薬剤は、炭化水素系合成界面活性剤を主成分とする泡消火薬剤です。
- ・泡安定剤・凝固点降下剤などを添加しています。
- ・PFASは含有していません。

## ■使用方法

- ・消防法施行令別表第1に掲げる消防対象物の駐車に供される部分に設置される泡消火設備及び特定駐車場用泡消火設備に使用する。
- ・淡水97容量%に本薬剤3容量%を溶解して使用します。
- ・駐車場の火災の消火に使用します。
- ・低発泡装置で使用します。

## ■性状

- ・淡黄色の均質な透明液体です。
- ・低発泡ノズルより発生した泡は微細な泡を形成し、石油类等可燃性液体の燃焼表面を流動展開被覆して速やかに消火します。特に流出油火災に有効です。
- ・泡消火薬剤の原液及び生成した泡は、毒性または損傷性がほとんどありません。
- ・鋼・黄銅・アルミニウムに対し著しい腐食性はありませぬ。温度38℃の泡消火薬剤の中に、金属試験片を21日間放置した場合の質量損失は次のとおりです。

金属の種類	実測値	国検規格
鋼(SPCC)	0.10mg/20cm <sup>2</sup> /day	3mg/20cm <sup>2</sup> /day以下
黄銅(C2801P)	0.09mg/20cm <sup>2</sup> /day	
アルミニウム(A5052P)	0.13mg/20cm <sup>2</sup> /day	

- ・本消火薬剤は、温度65℃に216時間保った後に室温に戻し、さらに温度-18℃に24時間保った後に室温に戻す強制変質試験を行っても、試験前の製品とほぼ同等の性能を有します。

## ■使用温度範囲

「-10℃~+30℃」の温度範囲で使用できます。もし使用温度範囲及び流動点以下に温度が下がり泡消火薬剤が凍結しても、液温が使用温度範囲内に戻れば有効に使用できます。

## ■物理的性状

試験項目	実測値	国検規格
比重 (20℃)	1.046	0.90~1.20
粘度 (20℃)	7.4cSt	200cSt以下
流動点	-15.0℃	-12.5℃以下
pH (20℃)	7.9	6.5~8.5
沈澱量	原液	痕跡以下
	淡・海水希釈液	痕跡以下
引火点	なし	60℃以上

【注意】本仕様書掲載の数値は、代表的な製品による測定値であり、保証値・規格値ではありません。

## ■性能

	試験基準	実測値	国検規格
試験条件	使用水	淡水	——
	燃料種類	n-ヘプタン	——
	燃料量	200L	——
	発泡ノズル	国検合成界面活性剤標準ノズル(低発泡用)	——
	放射量	10L/min	——
	燃焼火皿	B-20(4m <sup>2</sup> )	——
発泡性能	発泡倍率	10.2倍	6倍以上
	25%還元時間	5分17秒	1分以上
消火性能	消火時間	1分16秒	5分以内
	密封性試験	良	良
	耐火性試験	0cm <sup>2</sup> (自然消火)	900cm <sup>2</sup> 以下

## ■容器

標準容器として次となります。

20L容器：JIS Z1706に適合するポリエチレン偏平缶

## ■取扱上の注意

### ●使用上の注意

- ・駐車場の泡消火設備及び特定駐車場用泡消火設備に使用してください。
- ・使用時に他の薬剤と混用しないでください。
- ・使用時には淡水で3%希釈してご使用ください。

### ●貯蔵上の注意

- ・貯蔵時にプレミックス(淡水と混合)しないでください。
- ・使用温度範囲を保って貯蔵してください。
- ・貯蔵中に、みだりに開缶しないでください。